

家電批評

【月刊かでんひびょう】

TEST, REVIEW and BUY

2016年9月3日発行(毎月3日発行)第8巻第10号 通巻83号

ホンモノがわかる
家電情報誌

10 2016
Oct. 特別定価
780円



電書未発売分も全部入りDVD!

バックナンバー

3年分

2013-2015

スマホ・パソコン・タブレットで読める!



メーカーが
隠しておきたい
真実を暴く!



AV

家電 新常識

接戦を制したのは
「全肌質」対応の
ラムダッシュ!

T字カミソリ派がしびれた!

電動シェーバー

最新格付ランキング



ポケモン
GO
お得技
ベスト
セレクション



担当が
テストし過ぎて
見つけた!

ベスト格安PC
スピーカー
歴代最高の
カテテスト

カタログには
載せられない
裏ワザ満載

「4K」テレビよりPCモニターで観る!
「運写」人気α6300の落とし穴
「防水」シャワー中に操作不能はNG!
「画面割れ」補償いらずの4000円修理
「SIM」大手がやれないLINEゼロ円



1万円安くて
良いモノ

PHIL
Series

「一律」「5000円から」甘い言葉に騙されるな! 鉄則③ ネットにはびこる怪しい復旧業者の見極め方!

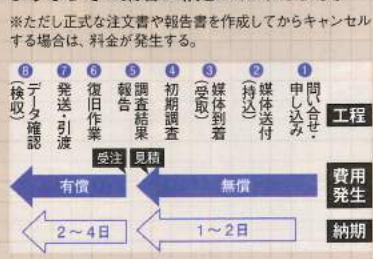
「一流メーカー」のロゴが貼ってあったら要注意! ③

修理実績としてメーカーのロゴをホームページに載せているところがあるが、実はこれが見極めのポイント。多くの業者はメーカー許可を取らずにロゴを載せており、特に「ソニー」のロゴがあるかどうかポイント。ソニーは商標権に厳しく、通常は使用することが非常に難しい。もしロゴが使われている場合、信用面で要注意と言える。



「見積もり」にお金はかかりません! ②

業界的には見積もりまでは「0円」というのが原則。しかもこの見積もり時に「このデータを復旧したい」と具体的に注文することもできるのだ。しかし修理業者の中には、「見積もり」にも小額だがお金をかけている場合がある。見積もりにお金がかかるようならその業者に頼むのはやめよう。



「データ容量によって価格が違う」は大きな間違い! ①

「20GB:5000円～」などという記載があるが、実際に持ち込んだら数十万かった、なんてこともあり得る修理実情。これは業界的に客層が一見さんであるため。相場がわからないこともあり、とりあえず安く見せている。実際問題、20GBのハードディスクなどないというのに、作業工程はデータ量に関係なく行われる。そのため、容量のみで価格が違うということはありません。



修理業者のお世話にならないためのハードディスクデータ管理術!

光学ディスク保存は実はNG! ハードディスクの方が安全です! ③

かつては重要なデータは光学ディスクに焼いて保存した方がよいというのが定番であったが、光学ディスクは太陽光に弱く、傷1つで読み込めなくなってしまう。またHDDなどに比べて修理不可能になる可能性もあるため、重要なデータほどHDDで管理したほうが良い。

重要なデータはハードディスクのパーティションを分けて2カ所に保存! ①

データを別パーティションにも保存しておくことで軽微な論理障害であれば復旧ソフトで救出できる可能性が上がる。ただし、物理障害では業者に依頼するしかないため、基本はバックアップ用ハードディスクへの保存であることを忘れずに。

バックアップ用ハードディスクはウエスタンデジタルの保証付きのものを選び! ④

ウエスタンデジタルのHDDには「データ復旧サービス」が付属しているモデルがAmazonやドスパラなどで販売されているものがある。このサービスは、製品保証期間内は論理障害は3回まで、物理障害は1回のみ、データ復旧作業費用を無料で行うことができる。重要なデータのバックアップ用にHDDを購入するのならこれが良いだろう。

プロもやっている! ハードディスクは乾燥剤と一緒に保管すべし! ②

容量がいっぱいになって普段は使わないハードディスクを押し入れの中に入れておくと、湿度にやられて故障の原因となる。そのため、ハードディスクはジップロックや静電気防止袋にシリカゲルなどの乾燥剤と一緒に保管するのが良い。

ハードディスクはNAS用を選ぶべし! ⑤

ハードディスクは、ウエスタンデジタルの「Red」シリーズと呼ばれるものを選ぶのが良い。これは普通のハードディスクに比べると少しだけ金額が高くなるが、NASにも利用できるモデルであるため、動作可能温度の上限が高く外部からの振動に強いなど、故障しにくい作りとなっている。

重度障害でも請求額が20万円以上なら 鉄則① 別の業者に再委託かボッタクリの可能性有!

非公開の価格リストがコレ! どんなに高くても20万円以内で済む!

対象機器	症状・障害内容	価格相場
パソコン	軽度障害: 電源不良、画面割れ、水濡れ 中度障害: OSエラー (ブルースクリーン、ブラックスクリーン、ロゴフリーズ、エラーメッセージ) 省電力モードから復旧しない	約3万8000円 約8万4000円
外付けハードディスク	軽度障害: HDDの非認識、HDDの異音 中度障害: データの削除、初期化、フォーマット、リカバリー 重度障害: その他の障害	約19万円
USBメモリー	軽度障害: 認識するがデータが確認できない 中度障害: データの削除、初期化 重度障害: 上記以外の障害	約3万8000円 約8万4000円
SDカード	軽度障害: 認識するがデータが確認できない 中度障害: データの削除、初期化 重度障害: 上記以外の障害	約19万円
CD	CD 1枚あたり	約2万2000円
DVD	DVD 1枚あたり	約4万4000円
Blu-ray	Blu-ray 1枚あたり	約5万5000円

結局いくらかわからない! データ復旧の価格相場はコレだ!

PCやHDDの修理を依頼するうえで、価格を決める指針となるのは、障害レベル。左記は障害レベルによる価格表だ。これで修理依頼の前にわかっている症状で大体の請求額が予測できる。しかし、設備が整っていない業者の場合は、他の復旧業者に再委託しているケースもあり、その場合は値段もつり上げられる。また、業社によってはデータ容量や持ち込んだユーザーの肩書きなどで値段をふっかけてくる場合もあるという。左記の価格表を参考にあまりにも値段が高すぎる場合は、ボッタクリを疑おう。



※上記はあくまで目安です。実際の障害状況により、障害判定・価格が異なる場合があります。

下手に触ると余計に壊れる!? 放置するの方が正しい!? 鉄則②

触れば触るだけ、正常なデータがエラーデータで上書き! 復旧の可能性が減り、料金は増える!

- 論理障害**
 - ファイルやフォルダが削除されている (ブルースクリーンでフリーズ)
 - 【管理ツール】でドライブレターが割り当てられない
 - ドライブを開こうとすると「アクセスできません」というエラー表示
 - OS起動時に「～が壊れています」というエラー表示
- 原因**
 - ファイル/フォルダの誤削除・誤フォーマット
 - ファイルシステムの破損・システムファイルの破損
 - ドライバの破損・ウイルス感染
- 物理障害**
 - HDDから異音が開ける
 - BIOSが認識できない
 - 焦げ臭いにおいがする
 - 回転している様子がない
 - 再起動を繰り返す
 - アクセスできないデータが徐々に増えていく
- 原因**
 - 基板上のチップ破損・内部ディスクの物理損傷
 - モーターなど駆動部分の故障・物理構造情報部分の破損
 - 内部ディスクの物理損傷

どうして修理価格が違ってくる? 障害レベルで見極める故障の深刻度!

市販されているデータ復旧ソフトで直すことができるのは、「論理障害」のみで、物理障害を修復することはできない。しかし、それを知らずに下手に触ると正常なデータ部分もエラーデータによって上書きされてしまい、症状が悪化してしまう。また、物理障害も併発し、障害状態がより重くなる。そのため、作業が増え料金が上がる。故障のような症状が見られたら下手に触らずに、修理に出したほうがよい。

※上記はあくまで目安です。実際の障害状況により、原因が異なる場合があります。

怪しい業者に騙されないための3大鉄則